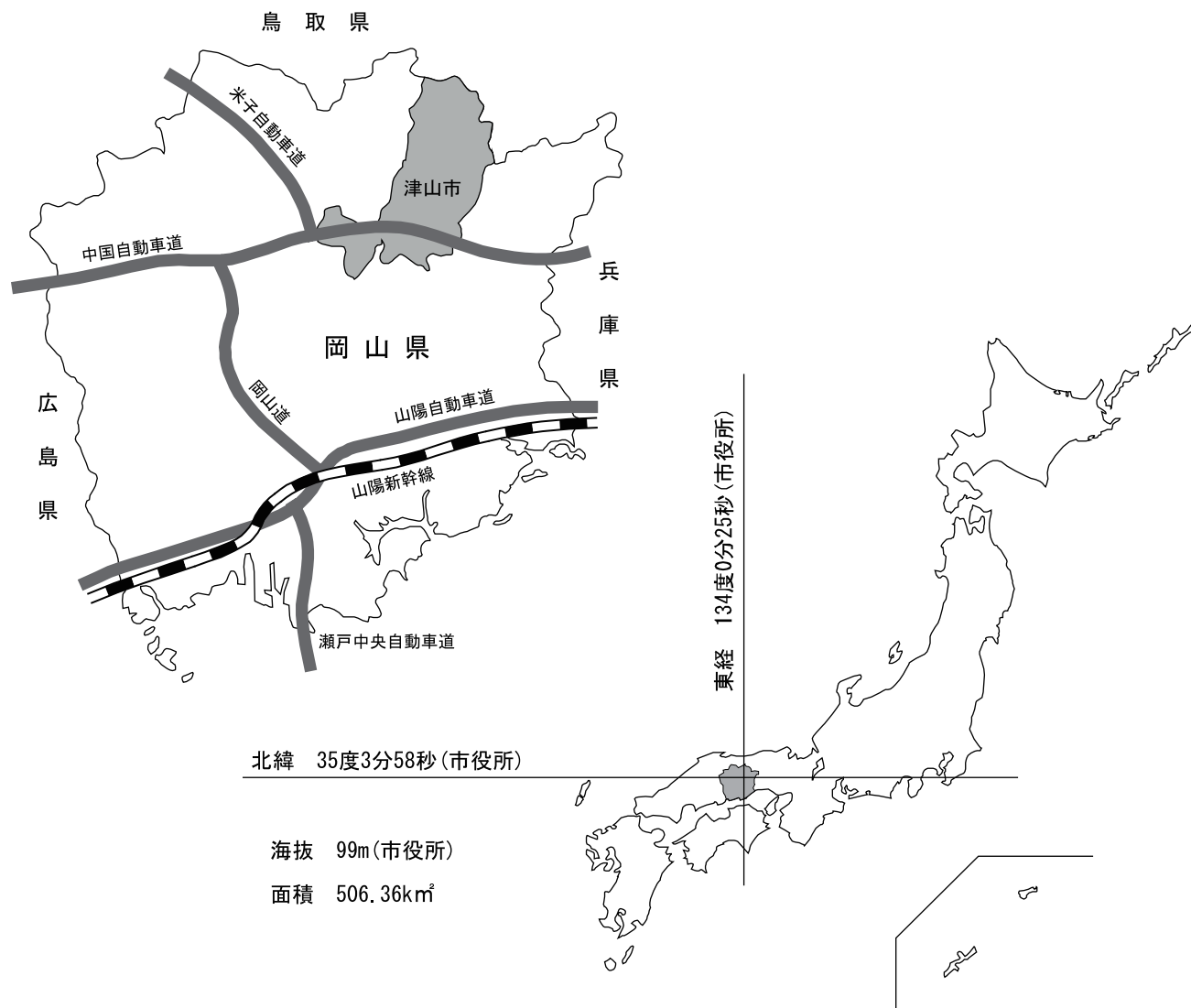


I 自然と歴史

1 位置と面積



2 地目別民有地面積

年 別	田	畑	宅地	山林	原野	その他	計
	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
平成 16	3,192.23	671.35	1,645.48	6,606.89	313.54	357.75	12,787.24
17	6,003.50	1,064.74	2,175.99	16,340.75	684.03	545.56	26,814.57
18	5,932.91	1,042.79	2,258.41	16,640.18	675.03	573.83	27,123.15
19	5,903.42	1,037.56	2,270.19	16,631.00	673.90	579.63	27,095.70
20	5,880.96	1,032.46	2,289.30	16,555.96	656.44	588.10	27,003.22
21	5,840.92	1,020.22	2,316.20	16,553.64	643.07	592.73	26,966.78

(注) 介在田、介在畑は「その他」に含む

資料 固定資産概要調書

(注) 平成16合併前の津山市の数字

3 旧市町村別面積

(単位 km^2)

旧市町村	面 積	旧市町村	面 積
津 山 市	185.73	勝 北 町	44.90
加 茂 町	159.27	久 米 町	74.39
阿 波 村	42.07	津 山 市 計	506.36

(注) 旧市町村面積は平成16年10月1日現在

資料 国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」

4 周辺都市との距離・所要時間

対 地	鉄 道		陸 路	
	距 離	時 間	距 離	時 間
岡 山	58.7km	普1時間30分	66.0km	1時間30分
姫 路	86.3km	普2時間30分	92.0km	1時間30分(中国自動車道)
大 阪			160.0km	2時間00分(中国自動車道)
鳥 取	73.4km	普2時間20分	75.0km	2時間00分
新 見	71.8km	普1時間40分	70.9km	1時間00分(中国自動車道)

5 市域の推移



※ 図中の細実線、町村名は昭和4年市制施行前の町村界、町村名、太実線は平成17年合併前の市町村界、破線は現在の字界を示す

合併年月日	地 区	合併形式
昭和 4.2.11	津山市・津山東町・西苦田村・二宮村・院庄村・福岡村	市 制 施 行
16.2.11	東苦田村・佐良山村	編 入 合 併
29.7.1	田 邑・一宮・高田・神庭・高倉・高野・河辺・大崎・広野・滝尾の各村	〃
30.4.1	檜(勝北町)	〃
30.6.1	池ヶ原・堂尾(勝央町)	〃
平成17.2.28	加茂町・阿波村・勝北町・久米町	〃

6 主要な山岳

(単位 m)					
山岳名	標高	位置	山岳名	標高	位置
天狗岩	1,196.6	加茂町倉見・苦田郡鏡野町境界	山形仙	791.1	新野山形・奥津川・西上
滝山	1,196.5	大吉・勝田郡奈義町境界	甲山	*777	大吉
三十人ヶ山	1,171.7	加茂町倉見・苦田郡鏡野町境界	矢筈山	756.4	加茂町山下・加茂町知和
角ヶ山	1,152.7	加茂町倉見・苦田郡鏡野町境界	釈山	753.1	加茂町物見・鳥取県境界
爪ヶ城山	*1,115	大吉・奥津川	入道山	752.3	上横野・苦田郡鏡野町境界
大ヶ山	989.8	加茂町倉見・加茂町知和・阿波	鳥山	*701	大篠・吉見・綾部
桜尾山	956.3	加茂町物見・鳥取県境界	寺山	681.6	加茂町青柳・加茂町戸賀・加茂町黒木
公郷仙	*862	加茂町公郷・加茂町下津川	黒沢山	*668	東田辺
大釈山	848.2	加茂町公郷・加茂町知和・加茂町下津川	矢倉山	659.5	宮部上・真庭市・苦田郡鏡野町境界
天狗寺山	831.8	大篠・加茂町行重・加茂町成安			

(注) 標高数値は、三角点及び標石のない標高点(*)の値を示した

7 主要河川

河川名	上流端	下流端	総延長 (m)
吉 井 川	苦田郡鏡野町	岡山市	133,273
支 〔 広 戸 川	津山市	津山市	18,045
加 茂 川	津山市	津山市	38,455
倉 見 川	津山市	津山市	17,000
皿 川	久米郡美咲町	津山市	14,243
久 米 川	津山市	津山市	12,368

(注) 延長12,000メートル以上のものを掲げた

資料 岡山県統計年報

8 ダム

(平成20年3月31日現在)(単位 千立方m)									
ダム名	水系名	完成	目的	集水面積	堤高	堤頂長	最高水位	総貯水容量	有効貯水容量
				km ²	m	m	BL m		
黒木ダム	吉井川水系 加茂川支流 倉 見 川	S43.3	防災 農業利水 上水道 発電	直接 49.2 間接 31.5	53.0	193.0	427.0	6,000	5,075
津川ダム	吉井川水系 津 川 川	H8.3	治水 河川維持用水 上水道 発電	17.8	76.0	228.0	383.0	5,990	5,450

資料 岡山県統計年報

9 気象概要(津山特別地域気象観測所)

年次	平均気圧 (海面)	気温			風速			平均湿度
		平均	最高	最低	平均	最大	瞬間最大	
	hPa	℃	℃	℃	m/s	m/s	m/s	%
平成 16	1,015.3	14.6	36.1	-9.0	1.6	18.2	50.4	74
17	1,014.6	13.9	36.1	-6.2	1.6	17.6	39.0	73
18	1,015.1	13.9	36.4	-6.2	1.6]	12.6]	26.2]	74]
19	1,015.3	14.4	37.3	-5.0	1.8	15.1	28.4	73
20	1,015.5	14.1	36.0	-5.7	1.8	12.9	21.5	74

年次	年間 降水量	年間 日照時間	降雪の 深さ合計	現象日数				
				真夏日 1)	熱帯夜 2)	真冬日 3)	雨(≧1mm)	雪
	mm	h	cm	日	日	日	日	日
平成 16	1,618.5	1,910.5	75	66	0	1	110	34
17	992.5	1,860.6	59	70	0	0	91	46
18	1,347.0]	1,652.5	79	55	2	0	121]	59
19	1,181.5	1,813.7	23	56	2	0	102	21
20	1,122.0	1,803.0	45	67	4	0	114	43

(注) 資料不足数値には] を付した

資料 気象庁気象統計情報

1) 真夏日＝最高気温30℃以上日数

2) 熱帯夜＝最低気温25℃以上日数

3) 真冬日＝最高気温0℃未満日数

10 歴 史 — 主要年表 —

年号	西暦	主 な こ と が ら
4世紀頃		○ 美和山1号墳など大型前方後円墳が美作に築造される
和銅6年	713	○ 備前の国から、6郡を分離して美作の国とし、いまの総社に国府をおく
応保2年	1162	○ 高野神社隨身立像が制作される
元弘2年	1332	○ 後醍醐天皇が隠岐遷幸の途中、美作院庄に滞在し、児島高德が忠心を奉上
天文23年	1554	○ 中山神社を拠点に土一揆
慶長8年	1603	○ 森忠政が美作に入封。18万6,500石を領する
元和2年	1616	○ 津山城が完成、城下町がつくられる
寛永10年	1633	○ 美作の人口が検される。(士卒14,020人 神官・僧侶・山伏689人 農民167,302人 商民14,349人)
明暦3年	1675	○ 森長継、城北に城の後園を営み、ご対面所と称す(衆樂園の始め)
元禄11年	1698	○ 松平長矩が津山に入封。10万石を領する
享保11年	1726	○ 津山藩内に、山中一揆おこる
天保9年	1838	○ 津山藩が讃岐小豆島の6村を領する
明治2年	1869	○ 津山藩主松平慶倫が版籍を奉還し、藩知事となる
明治4年	1871	○ 津山藩が廃され、津山県となる ○ 美作一円、北条県となる
明治8年	1875	○ 津山の総人口が15,164人となる
明治9年	1876	○ 北条県が岡山県に合併される
明治21年	1888	○ 津山～岡山間の電信が開通
明治22年	1889	○ 町村制による津山町が発足
明治28年	1895	○ 津山中学校が開校
明治31年	1898	○ 中国鉄道の津山口～岡山間が開通
明治36年	1903	○ 津山高等女学校が開校
明治43年	1910	○ 津山電気会社が操業開始(点燈戸数1,442戸)
大正4年	1915	○ 津山高等裁縫学校(現美作高校)が開校
大正9年	1920	○ 第1回国勢調査を実施。人口29,905人
大正10年	1921	○ 津山町立津山商業高等学校(現津山商業高校)が開校
大正12年	1923	○ 作備線の津山～追分間、中鉄の津山口～津山間が開通
大正14年	1925	○ 国勢調査を実施。人口31,576人(第2回)
大正15年	1926	○ 津山基督教図書館が開館
昭和3年	1928	○ 因美線の津山～加茂間が開通
昭和4年	1929	○ 市制施行(津山町・津山東町・西苫田村・二宮村・院庄村・福岡村が合併)初代市長に小沼敬三郎氏が就任。人口33,361人 市域面積38.5km ²
昭和5年	1930	○ 作備線の津山～新見間が全通 ○ 国勢調査を実施。人口34,159人(第3回) ○ 私立津山技芸学院(現作陽高校)が大谷に開校
昭和7年	1932	○ 津山市章を制定 ○ 因美線の津山～鳥取間が全通
昭和9年	1934	○ 市庁舎が落成 ○ 上水道の給水を開始
昭和10年	1935	○ 国勢調査を実施。人口36,092人(第4回)
昭和11年	1936	○ 姫津線の津山～姫路間が全通
昭和15年	1940	○ 国勢調査を実施。人口35,111人(第5回)
昭和16年	1941	○ 東苫田村と佐良山村を編入。市域面積61.6km ² ○ 岡山県立津山工業高校が開校
昭和18年	1943	○ 津山気象観測所が林田丹後山に開設
昭和19年	1944	○ 津山保健所が椿高下に開設
昭和20年	1945	○ 吉井川が氾濫し、市の中心部は大損害を受ける

年号	西暦	主 な こ と が ら
昭和22年	1947	○ 地方自治法が公布され、初代公選市長に和田義一氏が当選 ○ 畜産指導農場が大田に開設 ○ 臨時国勢調査を実施。人口51,571人(第6回) ○ 津山市消防団を結成
昭和23年	1948	○ 津山児童相談所を開設
昭和25年	1950	○ 国勢調査を実施。人口51,645人(第7回)
昭和26年	1951	○ 津山市社会福祉事務所が発足 ○ 郷土館が開館 ○ 国立津山療養所が開設 ○ 作陽短期大学が開校 ○ 美作短期大学が開校
昭和27年	1952	○ 津山市教育委員会が発足
昭和29年	1954	○ 田邑村・一宮村・高田村・神庭村・高倉村・高野村・河辺村・大崎村・広野村・滝尾村を編入。 人口80,616人 市域面積181.9km ² ○ 津山市立高等学校(現津山東高校)が開校
昭和30年	1955	○ 檜・堂尾・池ヶ原を編入。市域面積185.64km ² ○ 「広報つやま」第1号を発刊 ○ 国勢調査を実施。人口80,883人(第8回)
昭和33年	1958	○ 世界連邦平和都市宣言
昭和35年	1960	○ 国勢調査を実施。人口78,549人(第9回) ○ 津山市新市建設計画を策定
昭和36年	1961	○ 市営プールが竣工
昭和37年	1962	○ 安全都市宣言
昭和38年	1963	○ 国立津山工業高等専門学校が開校
昭和39年	1964	○ 津山伝染病隔離病舎組合を設立
昭和40年	1965	○ 沖縄県平良市と姉妹都市縁組 ○ 文化センターが落成 ○ 国勢調査を実施。人口76,007人(第10回)
昭和41年	1966	○ 津山市立高等学校が県に移管され、県立津山東高等学校として開校 ○ 作陽学園大学が開校
昭和42年	1967	○ 美作女子大学が開校
昭和43年	1968	○ 院庄工業団地の造成が完了
昭和44年	1969	○ 津山広域市町村圏が設定される ○ 津山市勢振興計画を策定 ○ 長野県飯田市と市政提携
昭和45年	1970	○ 津山圏域衛生処理組合が発足 ○ スポーツセンターが完成 ○ 国勢調査を実施。人口76,368人(第11回)
昭和46年	1971	○ 市民憲章を制定
昭和47年	1972	○ スポーツ振興都市宣言
昭和48年	1973	○ 津山圏域消防組合が発足 ○ 国分寺工業団地の造成が完了
昭和50年	1975	○ 綾部工業団地の造成が完了 ○ 草加部浄水場が完成 ○ 中国自動車道の吹田～落合間が開通 ○ 国勢調査を実施。人口79,907人(第12回)
昭和51年	1976	○ 岡山県津山総合体育館が落成 ○ 東苫田民俗資料館が開館 ○ 東部運動公園を設置

年号	西暦	主 な こ と が ら
昭和52年	1977	○ 統合により、津山東・北陵中学校が開校 ○ 津山市総合計画を策定 ○ 草加部工業団地の造成が完了
昭和53年	1978	○ 洋学資料館が開館 ○ 公共下水道建設に着手 ○ 市立図書館が開館 ○ 統合により、鶴山・津山西中学校が開校
昭和54年	1979	○ 市の木「くすのき」、市の花「さつき」を制定(2月11日市制記念日) ○ 青少年健全育成都市宣言
昭和55年	1980	○ 国勢調査を実施。人口83,136人(第13回)
昭和56年	1981	○ 高野工業団地の造成が完了 ○ 島根県出雲市、長崎県諫早市と三市友好交流都市提携 ○ 津山婦人青年の家が完成
昭和57年	1982	○ 文化基本構想を策定 ○ 大規模農道の野村～久米町間が開通。(22.2km) ○ 新市庁舎が完成 ○ 総合福祉会館が完成 ○ 障害者福祉都市に指定される ○ 文化振興事業基金を設置
昭和58年	1983	○ 津山スポーツ振興基金を設置 ○ 人権尊重都市宣言 ○ 中国縦貫自動車道が全線開通(吹田～下関間542.6km) ○ 市立図書館移転整備 ○ 作州ふるさと観光センター完成 ○ 津山圏域衛生処理センター完成 ○ 黒沢山自然公園完成 ○ 津山食肉流通センター完成 ○ 津山圏域雇用労働センター完成 ○ 西吉田住宅団地完成
昭和59年	1984	○ 弥生の里整備、高床倉庫・堅穴住居復元 ○ 教育相談センター鶴山塾開設 ○ 草加部工業団地第2期造成が完了
昭和60年	1985	○ 香川県土庄町と歴史友好都市縁組 ○ 非核兵器平和都市宣言 ○ 福祉ボランティアの町づくり事業(ボラントピア)に指定される ○ 国勢調査を実施。人口86,837人(第14回)
昭和61年	1986	○ 津山市新総合計画を策定 ○ 中道中学校が開校 ○ 市民憲章全国大会を開催
昭和62年	1987	○ 津山市資源化センターが完成 ○ 津山国際総合音楽祭を開催
昭和63年	1988	○ 郷土博物館が開館 ○ 津山国際交流車いす駅伝競走大会を開催(以後平成10年を除き毎年開催) ○ 初の女性議会「ひまわり議会」を開催 ○ 津山中核工業団地の造成が完了
平成元年	1989	○ 市制60周年記念式典開催 ○ 県立酪農試験場が閉場 ○ 津山東体育館完成

年号	西暦	主 な こ と が ら
平成2年	1990	○ 市街地再開発ビル「アリコベールしんざ」完成 ○ 勤労者総合福祉センター完成 ○ 「おかやま社会保険センター・つやま」完成 ○ 地域づくり全国交流会議を開催 ○ 第2回津山国際総合音楽祭を開催 ○ 津山弥生の里文化財センター完成 ○ 国勢調査を実施。人口89,400人(第15回) ○ 城東むかし町家(旧梶村邸)完成 ○ ゆとり宣言
平成3年	1991	○ 津山広域事務組合設立 ○ 公共下水道一部供用開始 ○ 津山市総合斎場完成 ○ 丹後山団地完成 ○ 新津山警察署が林田で業務開始
平成4年	1992	○ 津山市が「潤いのあるまちづくり」優良地方公共団体を受賞 ○ 交通安全都市宣言 ○ 津山文化振興財団が発足 ○ 津山コミュニティ学院開校
平成5年	1993	○ 作州城東屋敷が開館 ○ 津山圏域が地方拠点都市地域に指定される ○ 初の津山子ども議会開催 ○ 作州民芸館が開館 ○ 第3回津山国際総合音楽祭開催
平成6年	1994	○ 違法駐車防止条例を施行 ○ 岡山県津山陸上競技場完成 ○ 障害者福祉施設「神南備園」完成 ○ 市街地再開発ビル「アイ・ふきや」完成 ○ 美和山古墳公園が開園
平成7年	1995	○ 津山第一浄水場完成 ○ ソシオ一番街オープン ○ 国勢調査を実施。人口91,170人(第16回) ○ ごみ非常事態を宣言 ○ 岐阜県兼山町と歴史友好都市縁組
平成8年	1996	○ 津山いきいきプラン21(津山市第3次総合計画)策定 ○ 行財政改革大綱を策定 ○ 都市計画道路「新錦橋・押入線」が全線開通 ○ 津山市東京事務所開設 ○ 第4回津山国際総合音楽祭開催
平成9年	1997	○ 津山観光センターの新築移転工事が完了 ○ 津山市が、国のテレピア構想のモデル地区に指定される ○ ふれあいプラン(津山市障害者計画)策定 ○ 家庭ごみ処理有料化をスタート
平成10年	1998	○ 津山市国際化推進プラン策定 ○ 津山総合流通センターが完成 ○ 津山地区農業共済事務組合設立 ○ 台風10号による集中豪雨により、市内各地で大損害を受ける(浸水家屋約3,300戸) ○ 県北初の都市型公園「グリーンヒルズ津山」オープン
平成11年	1999	○ 市の花に「さくら」を追加制定(2月11日市制記念日)

年号	西暦	主 な こ と が ら
平成12年	2000	○ 津山市観光ビジョン策定 ○ 市街地再開発ビル「アルネ・津山」完成。市立図書館、市立文化展示ホール、津山男女共同参画センター「さん・さん」、音楽文化ホール・ベルフォーレ津山を併設 ○ 第6次行財政改革大綱を策定 ○ 情報公開制度実施 ○ 市内循環「ごんごバス」運転スタート ○ 第5回津山国際総合音楽祭開催 ○ アメリカ・サンタフェ市との友好交流都市確認書に調印 ○ 保健・福祉・医療の拠点施設新「津山中央病院」オープン
平成13年	2001	○ 新消防庁舎オープン ○ 国勢調査を実施。人口90,156人(第17回)
平成14年	2002	○ 西部公園全面供用開始 ○ 市立南児童館開館 ○ 津山駅前広場整備 ○ 津山城備中櫓復元整備工事開始 ○ 津山市コミュニティセンター開館 ○ 第7次行財政改革大綱を策定 ○ 津山市西苔田公民館開館 ○ 津山地域任意合併協議会設立
平成15年	2003	○ 国道53号線津山バイパス開通 ○ 津山地域合併協議会設立(津山市、加茂町、阿波村、勝北町、中央町、久米町) ○ 第6回津山国際総合音楽祭開催
平成16年	2004	○ 「美作国分寺跡」国史跡に指定 ○ 合併協定書に調印(津山市、加茂町、阿波村、勝北町、久米町) ○ 世界地方都市十字路会議開催(サンタフェ市、ベルサイユ市、ライデン市ほか国内地方都市の参加) ○ 台風23号の暴風により、家屋、山林に大被害。観測史上最高の最大瞬間風速50.4mを記録
平成17年	2005	○ 加茂町、阿波村、勝北町、久米町を編入。市域面積506.36km² ○ 津山城備中櫓復元整備工事竣工 ○ 国勢調査を実施。人口110,569人(第18回) ○ 晴れの国おかやま国体開催〔柔道全種別、剣道成年男女、ハンドボール成年男子、軟式野球成年、ゲートボール(デモンストレーション)〕
平成18年	2006	○ 「しあわせ大国つやま 津山市第4次総合計画」を策定 ○ 第8次行財政改革大綱を策定 ○ 「地産地消センターサンヒルズ」オープン ○ 新加茂農業集落排水施設供用開始 ○ 津山広域バスセンター完成
平成19年	2007	○ あば温泉にチップボイラー完成 ○ 衆楽公園駐車場完成 ○ 城西公民館開館 ○ 第7回津山国際総合音楽祭開催
平成20年	2008	○ 戸島学校食育センターオープン ○ 津山すこやか・こどもセンターオープン ○ 納税よびかけセンター開設 ○ 森林基幹道美作中央線全線開通
平成21年	2009	○ 市政施行80周年記念式典開催 ○ 津山圏域資源循環施設組合設立 ○ 勝北統合保育所「勝北風の子こども園」開所 ○ 新津山洋学資料館完成(H22.3.19オープン) ○ 「都市計画道路 総社川崎線」林田～川崎間(1.2km)開通